【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2005-227556(P2005-227556A)
【公開日】平成17年8月25日(2005.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2005-033
【出願番号】特願2004-36473(P2004-36473)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　7/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　7/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　7/04　D
Ｇ０２Ｂ　7/08　B

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月13日(2007.2.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも２つのレンズを保持するレンズ保持機構であって、
一方のレンズを保持する第一レンズ保持手段と、前記一方のレンズと同じ光軸上に配置される他方のレンズを保持する第二レンズ保持手段と、前記第一レンズ保持手段を光軸方向に移動させるレンズ移動手段とを備え、
前記第一レンズ保持手段及び前記レンズ移動手段を前記第二レンズ保持手段に保持すると共に、前記レンズ移動手段を前記第二レンズ保持手段にバヨネット状に組み込んで保持することを特徴とするレンズ保持機構。
【請求項２】
前記第一及び第二レンズ保持手段の間に配置され、前記第一レンズ保持手段を前記レンズ移動手段に対して付勢すると共に、前記第二レンズ保持手段を前記第一レンズ保持手段とは逆方向に付勢する押圧手段を更に備え、
前記レンズ移動手段にレール形状の係合部を形成すると共に、前記第二レンズ保持手段に前記係合部と係合可能な保持部を一体で形成し、
前記レンズ移動手段の前記係合部を前記第二レンズ保持手段の前記保持部に係合させることを特徴とする請求項１記載のレンズ保持機構。
【請求項３】
前記第一レンズ保持手段に前記レンズ移動手段との対向側に突起部を形成すると共に、前記レンズ移動手段に前記突起部と当接して前記第一レンズ保持手段の移動時の案内及び移動規制を行うカム部を形成したことを特徴とする請求項１記載のレンズ保持機構。
【請求項４】
駆動力を発生する駆動手段と、前記駆動手段の駆動力を前記レンズ移動手段に伝達する伝達手段とを更に備え、
前記駆動力により前記レンズ移動手段を回転させることで、前記第一レンズ保持手段を光軸方向に移動させることを特徴とする請求項１記載のレンズ保持機構。
【請求項５】
前記一方のレンズは、撮像装置の焦点を被写体に合致させるフォーカスレンズであるこ

とを特徴とする請求項１記載のレンズ保持機構。
【請求項６】
前記一方のレンズは、撮像装置の焦点距離を変更するズームレンズであることを特徴とする請求項１記載のレンズ保持機構。
【請求項７】
前記請求項１乃至６の何れかに記載のレンズ保持機構を備えたことを特徴とする撮像装置。
【請求項８】
外部からの操作に基づき前記駆動手段を駆動することで前記レンズ移動手段を回転させ、前記第一レンズ保持手段を光軸方向に移動させる制御手段を備えることを特徴とする請求項７記載の撮像装置。
【請求項９】
前記撮像装置は、デジタルカメラ、フィルムカメラ、ビデオカメラを含む群から選択されるものであることを特徴とする請求項７記載の撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上述の目的を達成するために、本発明のレンズ保持機構は、少なくとも２つのレンズを保持するレンズ保持機構であって、一方のレンズを保持する第一レンズ保持手段と、前記一方のレンズと同じ光軸上に配置される他方のレンズを保持する第二レンズ保持手段と、前記第一レンズ保持手段を光軸方向に移動させるレンズ移動手段とを備え、前記第一レンズ保持手段及び前記レンズ移動手段を前記第二レンズ保持手段に保持すると共に、前記レンズ移動手段を前記第二レンズ保持手段にバヨネット状に組み込んで保持することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、本発明のレンズ保持機構は、前記第一及び第二レンズ保持手段の間に配置され、前記第一レンズ保持手段を前記レンズ移動手段に対して付勢すると共に、前記第二レンズ保持手段を前記第一レンズ保持手段とは逆方向に付勢する押圧手段を更に備え、前記レンズ移動手段にレール形状の係合部を形成すると共に、前記第二レンズ保持手段に前記係合部と係合可能な保持部を一体で形成し、前記レンズ移動手段の前記係合部を前記第二レンズ保持手段の前記保持部に係合させることを特徴とする。